



花のしおり

石川県立金沢伏見高等学校
図書委員会
平成 29 年 5 月 24 日発行

図書だより
115 号

雨を楽しむ



6 月に入ればそろそろ雨の季節になります。

四季のはっきりしている日本では、昔から雨に
さえ楽しむ心を持ちました。雨にぬれた花や緑の
色もひとさわ美しくなり、やわらかに語りかける
雨の音。こんな季節は静肅な雰囲気を楽しみたい
ものです。

図書室で本を片手に銀の音色を楽しみましょう。

★★

図書室からのお願い

昨年の夏休み前や新図書室開館明けに本を借りた
まま、返却期限を過ぎていている人がいます。

一度返却してください。

本を紛失した人は、必ず連絡してください。

図書室の本は、学校のものなのです。

貸出の延長も簡単にできますので、返却期限は
必ず守ってください。

★★

平成 29 年度 図書委員紹介

委員長	知田 真幸 (33H)	1 年間
副委員長	河邊 篤也 (33H)	よろしく
副委員長	高野 日奈子 (27H)	お願いします。

受賞作品紹介 (未所蔵本は所蔵予定)

本屋大賞 『蜜蜂と遠雷』 恩田陸著

三島由紀夫賞 『カブールの園』 宮内悠介著

山本周五郎賞 『明るい夜に出かけて』

佐藤多佳子著

委員活動

学校図書館は、学校の
勉強や部活動に必要な
図書や資料を集め、そ
れを整理して学校全体
の人々に利用してもら
うサービス機関です。

図書委員は、こういう
図書館の役割を生徒の
立場から理解し協力し
ます。主に毎日のカウ
ンター業務のほか、右
記の係に分かれ、それ
ぞれ活動します。

広報係

松林 菜美 (15H)
森沢 美友 (15H)
井守 菜々美 (16H)
小林 由菜 (16H)
山下 優菜 (22H)
鷺田 夏美 (22H)
上野 妃奈子 (25H)
折戸 楓果 (25H)
岩野 初音 (27H)
高野 日奈子 (27H)
橘 力丸 (34H)
種本 崇司 (34H)
山原 さくら (35H)
山崎 楓奈 (35H)

講座係

示野 滉夢 (11H)
松田 知佐子 (11H)
新井 愛珠 (13H)
西川 亜利沙 (13H)
松本 親乃輔 (14H)
松村 知幸 (14H)
澤 晃太 (21H)
本田 翔 (21H)
齊藤 滉生 (24H)
作田 琴花 (24H)
富瀬 美帆 (32H)
鈴木 里紗子 (32H)
河邊 篤也 (33H)
知田 真幸 (33H)

展示係

上田 夏実 (12H)
小林 里杏 (12H)
山田 伊吹 (17H)
田方 仁菜 (17H)
清長 春花 (23H)
北河 亜美 (23H)
生垣 郁哉 (26H)
加藤 恭太 (26H)
又多 菜々子 (31H)
宮下 楓花 (31H)
寺前 亜美 (36H)
中野 杏南 (36H)
木戸口 優衣 (37H)
和多 彩花 (37H)

徳田伸一校長先生

「無意味な人生など、ひとつもない」
五木寛之著

あなたは这个世界で、かけがえのない存在——。
「目に見えているものがすべてではない」「今この時を、精いっぱい生きたい」、一読するだけで、自然と生きる希望と勇気が湧いてくる1冊。

西野正洋副校長先生

「世界史の10人」
出口治明著

「世界史は必ず役に立つ。将来のための教材は過去にしかないからです」
世界史上にイノベーションを起こした10人に、変化の激しい時代を生き抜く知恵を学ぶ。

弥久保悦朗先生

「旧約聖書を知っていますか」
阿刀田高著

他にもシリーズ、『新約聖書』『シェイクスピア』などなど有り。
枝葉末節を切り捨てて、エッセンスを抽出した「古典ダイジェスト」本。

川西恭子先生(国語)

「家守綺譚」 梨木香歩著

それはついこの間、ほんの百年前の物語。サルスベリの木に惚れられたり、飼犬は河童と懇意になったり、庭のはずれにマリヤ様がお出ましになったり、散りぎわの桜が暇乞いに来たり。と、「私」と天地自然の「気」たちとの、のびやかな交歓の記録。

大野利昭先生(地歴公民)

「歴史とは何か」 E・H・カー著

歴史とは現在と過去との対話である。複雑な諸要素がからみ合って動いていく現代では、過去を見る新しい眼が切実に求められている。歴史的事実とは、法則とは、個人の役割は、など歴史における主要な問題について明快に論じる。

大野拓也先生(地歴公民)

「坂の上の雲」 司馬遼太郎著

明治維新をとげ、近代国家の仲間入りをした日本は、息せき切って先進国に追いつこうとしていた。この時期を生きた四国松山出身の三人の男たち、秋山兄弟・正岡子規を中心に、昂揚の時代・明治の群像を描く長編小説。

北本英幸先生(地歴公民)

「等伯」 安部龍太郎著

都に出て天下一の絵師になる一武家から養家に出された能登の絵仏師・長谷川信春の強い想いが、戦国の世にあって次々と悲劇を呼ぶ。身近な者の死、戦乱の殺戮…それでも真実を見るのが絵師。その焦熱の道はどこへ。

新任の先生が
紹介する
おすすめの本

(未所蔵の資料もありますが、所蔵・収集予定です。)

藤村隆先生(地歴公民)

「口ぐせひとつでキミは変わる」
佐藤富雄著

未来はいつも使っている言葉しだい。いい口ぐせを使って、夢をかなえる方法を説明します。

小谷拓太郎先生(理科)

「陽気なギャングが地球を回す」
伊坂幸太郎著

嘘を見抜く名人、天才スリ、演説の達人、精確な体内時計を持つ女。この四人の天才たちは百発百中の銀行強盗だった……はずが、思わぬ誤算が。せつかくの「売上」を、あろうことか同じく逃走中の現金輸送車襲撃犯に横取りされたのだ！
ハイテンポな都会派サスペンス！

田淵康志先生(理科)

「楽園の泉」 アーサー・C クラーク著

地球と宇宙空間を結ぶエレベーターを建造できないだろうか？ だが、建設予定地の霊山スリカンダの山頂には三千年もの歴史をもつ寺院が建っていたのだ…みずからの夢の実現をめざす科学者の奮闘を描く巨匠の代表作。

寺澤幸平先生(理科)

「銀河英雄伝説」 田中芳樹著

銀河系に一大王朝を築きあげた帝国と、民主主義を掲げる自由惑星同盟が繰り広げる飽くなき闘争のなか、“常勝の天才”と、“不敗の魔術師”は相まみえた。この二人の智将の邂逅が、のちに銀河系の命運を大きく揺るがすことになる。日本 SF 史に名を刻む壮大な宇宙叙事詩

西尾直樹先生(保健体育)

「人生論」 武者小路実篤著

人間はなぜ生きてきたか、仕事とは、金銭とは、快楽とは、愛とは、死とは…長い生涯を通じ、人間への信頼を少しも失うことなく誠実に歩んだ筆者が深遠な命題に正面から取り組んだ書。

西森公男先生(数学)

「ガロア」 加藤文元著

十九世紀、十代にして数学の歴史を書き替えたガロア。享年二十。現代数学への道を切り拓く新たな構想を抱えたまま、決闘による謎の死で生涯を閉じる。年若き数学者が見ていた世界とは。

長丸駿介先生(理科)

「イニシエーションラフ」

乾くるみ著

僕がマユに出会ったのは代打で出た合コンの席。やがて僕は恋に落ちて…。青春小説—と思いきや、「必ず2回読みたくなる」と評された驚愕のミステリー。

中盛邦昭先生(英語)

「下町ロケット」 池井戸潤著

やればできる。絶対にあきらめないことを教えてくれる一冊。
ドラマでも大ヒットした、直木賞受賞作品。

福岡博子先生(英語)

「太陽の塔」 森見登美彦著

私の大学生活には華がない。特に女性とは絶望的に縁がない。クリスマスの嵐が吹き荒れる京の都、巨大な妄想力の他に何も持たぬ男が無闇に疾走する。失恋を経験したすべての男たちとこれから失恋する予定の人に捧ぐ。
日本ファンタジーノベル大賞受賞作。

橋本優子先生(英語)

「どうきん」 河野進著

心に寄り添う励ましの詩を多数収録。日頃、忘れがちなちょっとした心掛けを思い出させてくれる一冊。

高由美先生(音楽)

「阪急電車」 有川浩著

阪急電車の車内で繰り広げられる些細な日常が繋がっていくのが素敵な作品。
映画化されている。

齊田智子先生(情報)

「のうだま」 上大岡トメ・池谷裕二著

どうして「続ける」ことができないのか？やる気を出させて「続ける」コツは？？を知りたくて手にとった一冊です。なかなかおもしろくて、あっという間に読み終えること間違いなし！！です。